

2026年（令和8年）9月

ジュニアスポーツ指導者のための情報誌

神奈川スポ少だより

編集：神奈川県スポーツ少年団総務広報部会
発行：（公財）神奈川県スポーツ協会神奈川県スポーツ少年団
発行者：金田 正勝（神奈川県スポーツ少年団本部長）
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 3-1

スポーツ振興くじ助成事業

CONTENTS

- ごあいさつ ●令和8・9年度役員名簿
- エンジョイスportsフェスティバル記録
- エンジョイスportsフェスティバル 下半期
- 指導協だより ●市本部だより
- 日本スポーツ少年団だより
- 編集後記

スポーツくじ



ごあいさつ

公益財団法人神奈川県スポーツ協会理事
神奈川県スポーツ少年団

本部長 金田 正勝



このたび、神奈川県スポーツ少年団本部長を拝命いたしました金田正勝です。平素より、スポーツ少年団の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

スポーツ少年団は、スポーツを通じて子どもたちの健全育成を図る大切な社会教育団体です。地域の指導者の皆様、保護者の皆様、そして何より団員である子どもたちの力によって支えられ、今日まで発展してまいりました。改めて、その重みと責任を深く感じております。

一方で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。少子化による団員数の減少、指導者の確保、活動場所の確保、さらには部活動の地域展開など、課題は決して少なくありません。こうした状況の中で、スポーツ少年団がこれからも地域の子どもたちにとって「安心して通える大切な居場所」であり続けるためには、皆さまと力を合わせて取り組んでいくことが不可欠だと感じています。

そのためにも、本部長として

- ・子どもたちが安全に、のびのびとスポーツに取り組める環境づくり
- ・指導者の皆様が活動しやすい体制整備
- ・地域と連携した健全育成の推進

を柱に、より一層充実した組織運営に努めてまいります。

スポーツを通じて育まれる友情、挑戦する心、思いやりの気持ちは、子どもたちの未来を力強く支えるものです。神奈川県スポーツ少年団が、地域の誇りとなるよう、皆様とともに歩んでいきたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●● 令和8・9年度 神奈川県スポーツ少年団役員名簿 ●●

（任期：令和8年6月27日～令和10年6月開催予定の県スポーツ協会定時評議員会まで）

本部長	金田 正勝（理事）		
副本部長	浅野 俊二（寒川）	谷川 清（藤沢）	奥寺 正広（スポ少指導者協議会）
本常任委員	石渡 淳史（理事）	江崎 正信（横浜）	金宮 溶原（相模原）
	江口 達也（鎌倉）	佐藤 信之（小田原）	横川 光雄（秦野）
	石井 恒夫（海老名）	福原 静香（綾瀬）	板屋 光彦（スポ少指導者協議会）
	後藤 淳（学識経験者）	千葉 賢也（バレーボール）	滝口 秀和（バドミントン）
委員	黒田 為（川崎）	小山 哲史（横須賀）	日向野雅一（平塚）
	緒方 武人（茅ヶ崎）	高橋 康（逗子）	平松 恭輔（三浦）
	平井 信次（厚木）	野内 光枝（大和）	山口 三郎（伊勢原）
	石黒 宏昭（座間）	藤田 裕和（大磯）	常盤 浩之（湯河原）
	渡部 健太（愛川）	里見 厚司（スポ少指導者協議会）	薄田 秀明（小体研）
	高山 泰弘（中体連）	山本美智子（指導者連絡協議会）	伊藤 修治（軟式野球）
	佐々木 貴（バスケットボール）	三澤 透（空手道）	渡部 亮一（剣道）
	加藤 学（柔道）	加藤 渉（サッカー）	

各市町スポーツ（体育）協会、競技団体等から推薦され、委員として委嘱されております。青少年の健全育成に努めていきますので、ご支援の程よろしく願いいたします。

総務・広報部会

- ア 事業計画・事業報告及び収支予算及び収支決算に関すること。
 イ 関係誌等刊行物の発行に関すること。
 ウ スポーツ少年団結成促進に関すること。
 エ 関係団体・機関との連絡調整に関すること。
 オ 他のいずれの部会に属さない事項に関すること

【主要活動】

- スポ少だよりの発行に関すること ● 表彰事業に関すること

副本部長	部会長	浅野 俊二(寒川町)	常任委員	副部会長	板屋 光彦〔スポ少指導協〕(茅ヶ崎市)
常任委員	部会員	佐藤 信之(小田原市)	常任委員	部会員	後藤 淳〔学識〕(文化スポーツ観光局)
委員	部会員	黒田 為(川崎市)	小山 哲史(横須賀市)	平松 恭輔(三浦市)	
		平井 信次(厚木市)	山口 三郎(伊勢原市)	常盤 浩之(湯河原町)	
		薄田 秀明〔小学校体育研究会〕		山本美智子〔指導者連絡協議会〕	
—		小野寺 久〔スポ少指導協〕(大和市)		小室 和浩〔スポ少指導協〕(綾瀬市)	
		久保田 秀樹〔スポ少指導協〕(大磯町)			

活動部会

- ア 県内外競技別交流事業の実施及び参加に関すること。
 イ 普及啓発事業に関すること。
 ウ その他、活動開発に関すること。

【主要活動】

- エンジョイ!スポーツフェスティバル〔県内交流大会〕(軟式野球、バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントン、空手道、剣道、柔道、サッカー)
 ● 関東ブロック競技別大会に関すること(軟式野球、バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントン、空手道)
 ● ビーチスポーツフェスティバルに関すること

副本部長	部会長	谷川 清(藤沢市)	副部会長	江口 達也(鎌倉市)
常任委員	部会員	石渡 淳史〔理事〕	江崎 正信(横浜市)	福原 静香(綾瀬市)
委員	部会員	千葉 賢也〔バレーボール〕	滝口 秀和〔バドミントン〕	緒方 武人(茅ヶ崎市)
		高橋 康(逗子市)	野内 光枝(大和市)	石黒 宏昭(座間市)
		伊藤 修治〔軟式野球〕	佐々木 貴〔バスケットボール〕	三澤 透〔空手道〕
		渡部 亮一〔剣道〕	加藤 学〔柔道〕	加藤 渉〔サッカー〕
—		平林 滋〔スポ少指導協〕	相原 厚〔スポ少指導協〕(平塚市)	
		関谷 茂〔スポ少指導協〕(厚木市)	浅野 幸子〔スポ少指導協〕(寒川町)	

育成指導部会

- ア 指導者、リーダーの養成に関すること。
 イ リーダー育成と活用の促進に関すること
 ウ その他スポーツ少年団の育成指導に関すること。

【主要活動】

- スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成に関すること ● ジュニアリーダースクールに関すること
 ● アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP)普及促進研修会に関すること

副本部長	部会長	奥寺 正広〔スポ少指導協〕(横須賀市)
常任委員	副部会長	石井 恒夫(海老名市)
	部会員	横川 光雄(秦野市) 金宮 溶原(相模原市)
委員	部会員	日向野雅一(平塚市) 藤田 裕和(大磯町) 渡部 健太(愛川町)
		里見 厚司〔スポ少指導協〕(座間市) 高山 泰弘〔中体連〕
		佐藤富美男〔スポ少指導協〕(横浜市) 筒井 富夫〔スポ少指導協〕(藤沢市)
—		梶 敏郎〔スポ少指導協〕(小田原市) 久保田正人〔スポ少指導協〕(伊勢原市)

■和8年度神奈川県スポーツ少年団エンジョイスportsフェスティバル記録

関 東 ブ ロ ッ ク 競 技 別 交 流 大 会 （神奈川県予選会）

1. 第32回 エンジョイ!バドミントンフェスティバル 兼

第45回 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バドミントン競技会神奈川県予選会

【期日】令和8年6月13日(土) 【場所】ひらつかサン・ライフアリーナ参加数 【参加数】19団体 211名

種 目	優 勝	準 優 勝	3 位	
6年男子	寺本昌太郎 (横浜白山)	金子 大貴 (青葉ジュニア)	高木 陽向 (法政クラブ)	鈴木 旺輔 (若草 Jr. B. C.)
5年男子	原 路偉 (若草 Jr. B. C.)	小宮 七音 (FUTAGO. Jr)	高橋 蓮 (若草 Jr. B. C.)	浅野 陸 (三条クラーク Jr.)
4年男子	清水 汰一 (横浜白山)	仁科 颯斗 (三条クラーク Jr.)	関口 陽斗 (横浜白山)	本藏 睦己 (綾瀬ジュニア)
3・2年男子	宮川 稜人 (綾瀬ジュニア)	大束 憲歳 (青葉ジュニア)	高畑 旭 (若草 Jr. B. C.)	古本 慎悟 (法政クラブ)
1年生以下 男子	小林 快登 (R・A・C)	日向 洋翔 (横浜白山)	鈴木 萩 (横浜白山)	南 奏大 (横浜白山)
6年女子	石若 璃乃 (法政クラブ)	小川 結花 (横浜白山)	白倉 美空 (横浜白山)	井出 葵 (綾瀬ジュニア)
5年女子	田中 昂 (綾瀬ジュニア)	内田 千結 (横浜白山)	中村 奏緒 法政クラブ	高畑 葵 (若草 Jr. B. C.)
4年女子	小金井 輝心 (青葉ジュニア)	中島 菜晴 (法政クラブ)	宮里 羽紅 (若草 Jr. B. C.)	藤野 琴羽 (三条クラーク Jr.)
3・2年女子	寺本 有弥那 (横浜白山)	鈴木 葉 (横浜白山)	平山珠々葉 (横浜白山)	渡邊 彩心 (串川育成会)
1年生以下 女子	川端 小陽 (法政クラブ)	関口 陽風 (横浜白山)	内田 万智 (横浜白山)	金沢 愛花 (串川育成会)

2. エンジョイ!軟式野球フェスティバル兼第51回神奈川県スポーツ少年団軟式野球交流大会

【期日】5月16(土)、17日(日)、24日(日)、6月6日(土)、7日(日)

【場所】境川遊水地公園軟式野球場、相模三川公園野球場、ウイツツひばり球場 【参加数】14チーム

優 勝	レインボーファイターズ(横須賀市)	
2 位	秦野スカイホークス(秦野市)	
3 位	あかつき野球部(相模原市)	相模が丘ブラザーズ(座間市)

3. 第45回 エンジョイ!ミニバスケットボールフェスティバル 兼

第45回 関東ブロックミニバスケットボール交流大会神奈川県予選会

【期日】6月14日(日)、20日(土)、21日(日)、28日(日)、7月4日(土)、5日(日)

【場所】シンコースポーツ寒川アリーナ、寒川小学校、海老名総合体育館、秋葉台文化体育館、
明治小学校、藤沢小学校、秩父宮記念体育館

	男 子 【37チーム】	女 子 【32チーム】
優 勝	菅リトルツイスターズ(川崎市)	東希望が丘ミニバスケットボール部(横浜市)
2 位	石川ミニバス(藤沢市)	榎が丘ファイターズ(横浜市)
3 位	藤沢本町ミニバス(藤沢市) 榎が丘ファイターズ(横浜市)	桜丘ミニスターズ(大和市) 柿生フィリーズ(川崎市)

4. 第49回 神奈川県エンジョイ!バレーボールフェスティバル 兼

第45回 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バレーボール競技会神奈川県予選会

【期日】令和8年7月4日(土)、5日(日)

【場所】ひらつかサン・ライフアリーナ、県立スポーツ会館、川崎市立田島支援学校(田島校)
小田原市立富水小、小田原市立曽我小、小田原市立国府津小、相模原市立旧もえぎ台小

	男 子 【11チーム】	女 子 【24チーム】
優 勝	北相ボーイズ(相模原市)	緑台VBC(伊勢原市)
2 位	Ko Rise(川崎市)	富士見バンビーナ(小田原市)
3 位	港南台ジュニア(横浜市) 藤沢クラブ(藤沢市)	下中スピリッツ(小田原市) 銀河スポーツクラブ(川崎市)

5. 第16回 エンジョイ!空手道スポーツフェスティバル 兼

第45回 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会空手道競技会神奈川県予選会

【期日】令和8年5月16日(土) 【場所】シンコースポーツ神奈川県立武道館 【参加数】9団体

ブロック予選の部

	種目	選手数	優 勝	準 優 勝	第三位 (出場優先順①)	第三位 (出場優先順②)	
形	小4男子	5	藤井 渉太 (湘南空手道クラブ)	多田 真 (湘南空手道クラブ)			
	小4女子	5	吉満奈桜子 (日本空手道翔成会)	山野井 杏緒 (横浜系東会空手道)			
	小5男子	10	中山 新太 (鳳友会)	喜納 悠太 (湘南空手道クラブ)	岡村 柚輝 (一友会空手道)	宮地 弘明 (葉山町葉山空手道)	
	小5女子	4	宮下柚月音 (葉山町葉山空手道)	辻本 羽詩 (葉山町葉山空手道)			
	小6男子	8	木村 仁 (湘南空手道クラブ)	小笠原悠人 (日本空手道翔成会)	馬場 廉太 (鳳友会)	亀山 京架 (湘南正拳クラブ)	
	小6女子	4	益田 杏璃 (湘南空手道クラブ)	小林茉莉珠 (横浜系東会空手道)			復活優勝
組手	小4男子	6	磯崎 蓮 (鳳友会)	影山 大知 (葉山町葉山空手道)			平野 陽翔 (横浜系東会空手道)
	小4女子	4	野中 千詩 (湘南空手道クラブ)	稲葉 夏希 (横浜系東会空手道)			
	小5男子	8	中山 新太 (鳳友会)	岡村 柚輝 (一友会空手道)	兼平 悠汰 (一友会空手道)	白井 瑠助 (鳳友会)	宮地 弘明 (葉山町葉山空手道)
	小5女子	3	小倉 早瑛 (一友会空手道)				
	小6男子	5	馬場 廉太 (鳳友会)	亀山 京架 (湘南正拳クラブ)			深谷 誠太 (横浜系東会空手道)
	小6女子	3	小林茉莉珠 (横浜系東会空手道)				

競技大会の部

	種目	選手数	優 勝	準 優 勝		種目	選手数	優 勝
形	小4男女	4	齊藤 凜来 (英友会)	関根 涼介 (横浜系東会空手道)	組手	小4・5男子	2	清水 絢心 (一友会空手道)
	小5男女	3	政岡 花奈 (英友会)			小4・5女子	3	齊藤 凜来 (英友会)
	小6男子	2	新田 悠仁 (横浜系東会空手道)			小6男子	2	新田 悠仁 (横浜系東会空手道)
	中学生男女	3	石田 華琉 (横浜系東会空手道)					
【参加数】 88名					【参加数】 63名			

第45回 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

交流大会：令和8年7月11日(土)～7月26日(日)山梨県【小瀬スポーツ公園武道場ほか】

種 目	参加チーム	記 録
軟式野球	レインボーファイターズ	Bブロック：1位
バレーボール	下中スピリッツ	3位リーグ：1位
ミニバスケットボール	男子：菅リトルツイスターズ 女子：東希望が丘ミニバスケットボール部	3位リーグ：3位 2位リーグ：3位
バドミントン	男子：神奈川県選抜 女子：神奈川県選抜	男子：2位 女子：1位
空手道	男子：神奈川県選抜 女子：神奈川県選抜	総合 6位



1. 第21回関東小学生バドミントン選手権大会 兼 第35回全国小学生バドミントン選手権大会関東地区予選会(ダブルス戦) 兼 神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会【バドミントン】(ダブルス戦)

【期日】令和8年8月29日(土) 【場所】アサシテ スポーツパーク(県立スポーツセンター)スポーツアリーナ1

種 目	優 勝	準 優 勝	3 位
6年男子複	⑥原田 悠作 ⑥遠山 正曜 (NP神奈川)	⑤楊 鐘茗 ⑤小山 大耀 (Selfish)	⑥後藤 葵 ⑥廣瀬 彰真 (菅生ジュニアバドミントン)
5年男子複	⑤佐藤 結例 ⑤木下 歩夢 (Selfish)	⑤浅野 陸 ④仁科 颯斗 (三条クラーク Jr.)	⑤月成 一瑳 ⑤岡崎 颯斗 (鶴見ジュニアバドミントン)
4年以下男子複	④石附 優馬 ④武田 航 (NP神奈川)	④清水 汰一 ④関口 陽斗 (横浜白山)	③森本 皓太 ③武井 湊 (NP神奈川)
6年女子複	⑥田宮 真愛 ⑥猪口 優笑 (NP神奈川)	⑥島崎 詩花 ⑥曾根 世菜 (Selfish)	⑤小川 結花 ⑤白倉 美空 (横浜白山)
5年女子複	⑤久保 唯夏 ⑤北島 美紅 (NP神奈川)	⑤鈴木 紺 ⑤内田 千結 (横浜白山)	⑤中村 奏緒 ④中島 菜晴 (法政クラブ)
4年以下女子複	④木村 悠日 ④中村 帆希 (NP神奈川)	③鈴木 葉 ③白倉 梨乃 (横浜白山)	④藤野 琴羽 ④富岡 千皓 (三条クラーク Jr.)

エンジョイ軟式野球フェスティバル2026 報告

横須賀レインボーファイトーズ
新 谷

このたびは、「エンジョイ!軟式野球フェスティバル 2026」への参加にあたり、たくさんのご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

8月8日から11日にかけて行われた大会では、初戦で新潟県代表・柏崎 STARS さんと対戦し、2対3で惜しくも敗れてしまいました。翌日は交流戦に参加し、全日程を終えました。

試合の結果は悔しいものとなりましたが、全国から集まった選手やチームとの交流は、子どもたちにとって大きな刺激となりました。大会初日の交流プログラムでは、普段は出会えない他県の選手たちと仲良くなり、たくさんの学びや気づきがありました。

また、雨で途中中止となったものの、野球教室などのイベントにも参加でき、子どもたちにとって貴重な体験となりました。同じ宿泊先だった愛知県代表チームとの練習試合や、スタッフ・保護者の皆様との交流の時間もあり、野球を通じて人とのつながりが広がった大会でした。

選手たちは、試合だけでなく、出会いや経験を通して大きく成長できたと感じています。今回の大会は、チームにとっても、子どもたちにとっても、忘れられない思い出になりました。

最後に、参加にあたりご支援くださった金田本部長、神奈川県スポーツ協会の皆様、そして関係者の皆様に心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、子どもたちは神奈川県代表として素晴らしい経験を積むことができました。本当にありがとうございました。



■神奈川県スポーツ少年団エンジョイスportsフェスティバル下半期

競 技	開 催 期 日	会 場
ビーチフェスティバル	令和8年11月1日(日)	ひらつかビーチパーク
バレーボール	令和8年10月17日(土)・24日(土)	アサンテスポーツパークほか
空 手 道	令和8年12月5日(土)	シンコースポーツ県立武道館
剣 道	令和8年12月5日(土)	シンコースポーツ県立武道館
柔 道	令和9年2月11日(祝木)	シンコースポーツ県立武道館
サ ッ カ ー	令和9年2月13日(土)	アサンテスポーツパーク

■指導協だより

2026年度 指導協研修事業

神奈川県スポーツ少年団指導者協議会では、2026年度の事業は下記の通り実施を予定しています。今年度の研修会2会場は「学童の心身に関わる幅広い知識の習得」を共通テーマとして設定致しました。

12月6日座間会場では、栄養バイオマーカー食育研究室の森先生をお迎えして、「こどもの未来をつくる今しかできない食事術又は学童期の食育（家庭のできる工夫）」を講演とグループ討議で深めていきたいと思います。

また来年1月30日の横須賀会場では、日本ペップトーク普及協会認定講師の松島齊先生をお迎えして「ペップトークで元気なスポーツ活動を」をテーマに講演とグループ討議を予定しています。

スポーツ指導を受ける子どもが「安全に・正しく・楽しく」スポーツ活動が行える環境を整えるためには、医・科学的根拠に基づく幅広い知識を有する公認指導者の存在が欠かせないと考えます。

今年度もこの研修会はJSPPO指導者資格更新研修として位置付けられています。より多くの公認スポーツ指導者の方々、並びに少年団に関わる指導者・保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

	開 催 期 日	会 場	申 込 締 切
座 間 会 場	令和8年12月6日(日) 13時～	サニープレイス座間	9/24～11/29
横 須 賀 会 場	令和9年1月30日(土) 13時～	ヴェルクよこすか	11/1～1/15

お問合せ 神奈川県スポーツ少年団指導者協議会委員長 板屋光彦 携帯 080-5413-8639 E-mail: itayamiko@yahoo.co.jp

令和8・9年度 指導協委員	委員長 板屋 光彦 (茅ヶ崎市)	副委員長 小野寺 久 (大和市)	事務局 筒井 富夫 (藤沢市)
	会 計 関谷 茂 (厚木市)	監 事 奥寺 正広 (横須賀市)	書 記 久保田正人 (伊勢原市)
	運営委員		

佐藤富美男 (横浜市) 平林 滋 (相模原市) 相原 厚 (平塚市) 梶 敏郎 (小田原市)
横川 光雄 (秦野市) 里見 厚司 (座間市) 小室 和浩 (綾瀬市) 浅野 幸子 (寒川町) 久保田秀樹 (大磯町)

■市本部だより



スポーツテスト

厚木市スポーツ少年団連絡協議会

会長 石井 芳隆



子どもたちがのびのびと成長し、未来に向かって自分らしく歩んでいけるように。そんな願いから、私は地域のサッカー少年団の団長として活動を始めました。グラウンドで汗を流し、仲間と声を掛け合いながらボールを追いかける子どもたちの姿を見るたびに、「子どもたちの力になりたい」という思いが自然と強くなりました。子どもたちの笑顔は、地域の宝物だと心から感じています。

その思いを胸に活動が続ける中で、平成13年には厚木市スポーツ少年団連絡協議会の理事、そして同年に会長を務めることになりました。

厚木市の主な活動は三大事業で構成されております。

一つ目は、運動適性テストⅡに基づく7種目のスポーツテストを行い、子どもたちの運動能力を把握しながら成長を見守っています。

二つ目は、日頃の活動で生じる課題について指導者同士が研究・協議する研修会を開催し、経験豊かな指導者から若い指導者まで幅広く参加しています。

三つ目は、子どもたちが団の枠を越えて無作為に編成されたチームで競技に挑む交流大会を開催し、初めて出会う仲間と協力する楽しさや挑戦する気持ちを育てています。こうした取り組みは、スポーツの枠を超えて地域のつながりを深める大切な機会となっています。

私は、これらの活動を通じて、子どもたちが安心してスポーツに親しみ、仲間とともに成長していける環境を守り続けたいと思っています。これからも、子どもたちの笑顔のために、そして地域のスポーツ文化を未来へつなぐために、できることを一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。



指導者研修会



交流大会



スポーツは、ただ体を動かすだけではなく、仲間を思いやる心や、最後までやり抜く力を育ててくれます。地域の大人たちが手を取り合い、子どもたちの成長を見守り、支えていくことができれば、未来はもっと明るくなる。私はそう信じています。

表 彰 式 令和8年11月21日(土) 11時～12時 かながわ県民センター 2階ホール

神奈川県スポーツ少年団では、スポーツ少年団として自覚を高め、豊かな団活動の推進を図るために団活動10年以上の団体で毎年1回以上運動適正テストを行っている団を優良スポーツ少年団として表彰しています。また、スポーツ少年団の理念を学んだ指導者として10年以上指導にたずさされている方を指導者表彰しています。次の団体、指導者を表彰します。

■ 優 良 団 体 ■ 3団体		
相模原北署剣士会	鶴の原ヤングノーブルズ(相模原市)	郷成ボスターズ(横須賀市)
■ 指 導 者 ■ 12名		
後藤 安男(相模原市北)	大貫 竜志(上溝柔道教室)	三浦 崇(横須賀ジャガーズ)
石井 勝博(明治ミニバスケットボール)	板垣 孝(秩父宮ジュニアアスリート)	丹野 正美(スカイラークバレーボール)
江村 美香(湘南空手道クラブ)	府川 伸大(小田原フレンドリークラブ)	清水 進(鴨宮コンドルズ)
永田 朋大(海老小 E-FRIENDS)	平松 慶(吉原道場)	丸山 史朗(寒川タイガース)
■ 役員・スタッフ ■ 2名		
佐々木 重光(相模原市スタッフ)	庭山 憲治(ポインターズ座間)	

編 集 後 記

巻頭挨拶は新任の金田県本部長です。組織運営に三つの柱を掲げ邁進することを力強く表明されています。安倍前本部長にはジュニアスポーツフォーラムの模様を寄稿して頂きました。今後もサポートをお願い致します。横須賀レインボーファイターズの新谷様からは、エンジョイ軟式野球フェスティバルで全国出場のワクワク感溢れるレポートを頂きました。最後になりましたが、市本部だよりは厚木市・石井芳隆会長です。「子どもたちの笑顔は地域の宝物」との思いと、子どものスポーツ活動を支えることが未来に繋がるなど、固い信念が貫かれていて、私自身も励まされました。災害が続くこの頃ですが、子どもたちの笑顔を支えに、あきらめず、たゆまずスポ少の活動を進めましょう。

総務広報部会長 浅野俊二

第9回 ジュニアスポーツフォーラム（旧：指導者全国研究大会）報告

神奈川県リーダー会支援指導者 前神奈川県スポーツ少年団本部長 安倍 正弘

スポーツ少年団改革プラン2023（緊急改革プロジェクト）を受けたスポーツ少年団第11次育成五カ年計画（アクションプラン2023-2027）もあと2年の実践期間となりましたが、この計画は2027年からスタートし2030年を目途とするスポーツ少年団が「日本のジュニア・ユース世代のスポーツ環境の中核を担う組織」へと進化するための大改革（登録制度、登録料、ガバナンスコード作成等）の為の準備期間でもあります。

この改革プランを受けて、スポーツ環境の変化に迅速にかつ適切に対応するために、今年も日本スポーツ協会（日本スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ全国協議会）、スポーツ安全協会、日本スポーツ法学会共催の『第9回ジュニアスポーツフォーラム』が次のとおり開催されましたのでここにご報告をします。

（1）日時 令和8年6月14日（日）10:00～16:00 （2）場所 ベルサール新宿南口 （3）プログラム

1. 全体企画 テーマ「勝ちより大切な価値を探る」 3人の鼎談
2. 分科会 A アントラージュの幸福について考える（パネルディスカッション形式）～よりよいスポーツの「場」を創るために～
分科会 B 人が集まるクラブ広報（パネルディスカッション形式）～募集・継続・支援につながる発信～
分科会 C みんなで見つけよう！スポーツ環境の法的トラブルの解決法（グループディスカッション形式）
分科会 D 地域スポーツの将来像（パネルディスカッション形式）～スポーツ少年団と総合型クラブの連携を探る～
3. 全体会

この研究大会は、年1回6月に全国のスポーツ指導者（監督・コーチ・リーダー・役員等）の「資質向上」と、スポーツ活動に欠かせない「安全安心な環境の整備」に資するためにと開催されています。今年度は全国から228名の指導者・リーダーが新宿に集まりおこなわれました。この大会にはスポーツ少年団に登録をしている指導者・リーダーなら誰でも参加することができますので今後も多くの指導者・リーダーの方に参加していただき、スポーツ環境の現状及び現在の立ち位置や指導者としてのリフレッシュの機会にしていいただければと思います。

スポーツ少年団は大きな曲がり角にきています。30年来維持してきた団員登録費が値上げされます。40年前≒120万人いた団員数が令和7年度には≒51万人に54%減少（因みに：小学生数もこの40年で50%減）していますので組織の維持のためには致し方ない変更かとも思います。しかし40年前に小学生数のスポーツ少年団加入率が10%であったのが、40年後の令和7年度も9%と、ほぼ変わらずに子どもたちのスポーツ場として社会に認知されていることに自信を持ちました。今後はスポーツ少年団が中学生部活動の一翼を担うことも活動の視野に入れて、ジュニア・ユース期の子どもたちのスポーツ環境に益々貢献していければと考えます。

■日本スポーツ少年団だより

令和9（2027）年度からの登録について

スポーツ少年団登録システムがリニューアルされます。

日本スポーツ少年団では、スポーツ少年団関係諸規程改定及び登録システム改修を進めております。来年度（令9年度）に向け、以下の内容について、市区町村スポーツ少年団、単位団のみなさまも随時ご確認いただきますようお願いいたします。

① 団登録要件としての団規約添付の必須化

→令和9年度から**団登録時に団規約の添付が必要となります**。予め見直しや確認等のご準備をお願いいたします。

規約の参考例等は JSPO ホームページにも掲載しています。 <https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1421.html>

② ガバナンスコードセルフチェック・公開の必須化

→令和9年度から団登録時にガバナンスコードのセルフチェックを行っていただくこととなります。登録作業の中でセルフチェックが必須項目となっており、入力して登録することでシステム上での公開まで完了します。

なお JSPO から、"ガバナンスコードとは"、"なぜセルフチェックが必要なのか"等の説明および年度からのセルフチェック対応を推奨する案内（メール・チラシ）を発信する予定です。

③ 団登録時、新規団を含め日本スポーツ少年団の定める要件を満たしていないと入力エラーとなり、先に進めません。

→これまで人数要件等を満たしていない場合でも登録に進めるシステムの仕様でしたが、令和9年度からは要件を満たさないと登録に進むことができないので、ご注意ください。

<リニューアル後> すべての登録者がシステムを活用して、理念を学習することになります。

◆登録料について◆

スポーツ少年団は、メンバーシップ制を採用しており、登録の際、団員・指導者・役員・スタッフとも登録料が必要となります。

・団員：700円（年額） ・指導者、役員・スタッフ：700円（年額）

※上記に加えて、神奈川県及び市町スポーツ少年団が徴収する登録料は、スポーツ少年団活動にかかる経費として、別途設定されております。